

京都老舗体感ゼミナール 2020 の日程が決定しました！

開催決定！

第7回

京都老舗体感ゼミナール®

2020年 9月10日(木)・11日(金)

2020年度の「京都老舗体感ゼミナール®」は、9月10日(木)、11日(金)の開催が決定いたしました。京都は日本の三大祭りで、かつ、京の三大祭りの1つである「祇園祭」が8月1日～31日まで行われていますが、10月の「時代祭」までの静寂なひと時に訪問することになります。

既に100人を超える数多くの経営者や後継者、さらには企業をサポートする税理士・弁護士、弁理士などの専門家などに参加いただきました。


別紙にありますように、様々な参加者の声をいただきながら、毎回よりステップアップした企画を立てています。また、訪問する「老舗」も毎年のテーマに沿って選択しながら交渉を進めてきました。

ちなみに2018年は源氏物語(1000年)、明治維新(150年)であったことから「宇治と伏見エリア」、2019年は下京区誕生140年のイベントに協賛したこともあり「旧下京区エリア」の老舗を訪問しています。

2020年のテーマは「明智光秀」です。そのため、光秀にちなんだエリアにある老舗や光秀に関係する老舗を選択して交渉を始めています。

現在、禅寺妙心寺(退蔵院)や足立病院などが訪問先として確定しました。米スタンフォード大学の客員教授でもある退蔵院の松山副住職からは伝統的な組織の有り方や後継者としての考え方、7代目になる足立病院の畑山理事長からは病院のビジネスモデルの構築の仕方や次期理事長の選出法やバトンタッチの仕方などをお話いただく予定です。

これまでの老舗企業からさらに範囲を広げたのは、伝統的な寺院や病院の継承の有り方などの中に企業継続のヒントが数多くあると実感したからです。今回も7社(件)ほどの訪問を予定していますが、その間に光秀が信長を攻めた本能寺跡や現在の本能寺、さらには、秀吉と戦った天下分け目の天王山なども巡回する計画を立てています。

【お問い合わせ】  **DAN PARTNERS** ダンコンサルティング株式会社 担当：小林

TEL : 03 (3232) 1409

Mail : kobayashi@dan-tcg.co.jp

京都老舗体感ゼミナール®開講の理由 ~なぜ、生き続けられるのか?~

京都老舗体感ゼミナールを行うために、老舗各社の紹介を受けて事前に1社につき2~3回は訪問させていただいています。毎回1泊2日のゼミナールとして老舗企業を7~8社訪問していますが、そのためには業種・業態などのバランスを検討しながら十数社をピックアップして、日程や訪問時間帯を交渉しながらスケジュールを組み立てていきます。

すでに百社に近い老舗経営者らと接点を持ち、詳細な情報や知恵を提供いただけてきました。ここでいう情報や知恵とは、企業が生き続けていくための最低限のリーダーの役割と言い換えることができるでしょう。

体感ゼミナールでは、実際に老舗各社を訪問して各企業の当主・女将・社長・会長といった代表者(リーダー)から直接お話を聞きしています。お話しいただく内容は、老舗企業の誕生と歴史、時代に応じたビジネスモデルの転換と対応法、リーダー育成や後継者教育の考え方と実践法の3つが中心です。

その理由は、ゴーイングコンサーン(継続企業)として世の中に誕生し、現在も継続されている(つまり、何百年にわたり社会に存在し続けている)のが老舗各社であり、現在のリーダーから継続していくための生きる術をお聞きしたいからです。

数十社の老舗企業各社には、当然ながらそれぞれに独自の経営哲学があります。業種・業態・社歴はもちろん、経営者の考え方やビジネスモデルの変化への対応法なども、ほとんど異なっています。

ところが、なぜ継続できているのかという説明を問うと、ほとんどの経営者は熟考された後で「信用されてきたからですかね。」と抽象的な解説に集約されてしまいます。ここでいう「信用」とは、社会からの信用ということです。極めて単純化すると、信用とは日々築き上げてこられた伝統であり、極論すれば、老舗 = 伝統 ということなのでしょう。

それでは、日々築き上げてこられた信用はどのようにして生れるのでしょうか。この質問に対しては個々のリーダーの意見は様々です。

ただ大きくまとめると、日常を正直に、丁寧に、誠実に、無理無駄を意識し、素直な心で働くことをさりげなく繰り返してきたことが信用に繋がったという点に尽きます。その結果が伝統となり、いつの間にか世間から「老舗」と呼ばれるようになったという流れが見えてきます。

石門心学の生みの親であり日本の商人道の元祖と言われる石田梅岩は、1739年出版の「都鄙問答」の中で、商人として欠かせない素養として「正直」「勤勉」「儉約」の3つを掲げています。

日常生活の中で正直・勤勉・儉約を日々意識していなければ事業は続かない——つまり、仕事は日常生活の一時であり、逆に言えば、日常生活の中に仕事があるため、仕事の場だけで正直・勤勉・儉約を実行しているのなら無理が生じるため長く続かないというわけです。

京都の老舗企業各社には不思議なことに梅岩の教えが自然に伝承されており、おそらくDNAとしてリーダーからリーダーに引き継がれてきたのでしょう。「お天道様が見ている」とか「世間に顔向けできないことはしない」とか、「創業者に恥をかかせることはできない」などという言葉が話の合間にどんどん出てきます。まさに日常生活の中に正直・勤勉・儉約などがすりこまれているということです。これらが各老舗の家訓として様々な言葉に変化して存在しているのです。

老舗企業アンケートによると、「企業理念、家訓、社訓、社是などがありますか」という質問に、80%はあると応じています。ただ、「明文化されている」と「口伝されている」はほぼ半々です。その理由は、暗黙知としても継承されてきているからです。老舗のDNAとして伝わり、リーダーの日常生活の中にまで浸透しているということでもありと言えます。

ドラッグは組織の継続は目的ではなく結果だと言っています。そのために必要なことは顧客の創造であると喝破しました。

顧客を創造するということは社会を良くすることに繋がり、その結果、社会がその企業を支援するというわけです。そうすると、顧客を創造することの基盤は理念に基づいた社会からの信用であり、この信用は日々の日常における正直・勤勉・儉約の積み重ねしかないことがわかります。

京都の老舗ゼミナールは、こうした本質を間近で体感できるため、毎回参加される経営者もおられます。継続している企業には信用を生むためのDNAが必ずあるからでしょう。

2020年度訪問予定先

9月10日(木) 午前10時 京都駅 集合予定



10日 10:30~ 妙心寺 退蔵院

600年ほど前(1404年)に建立されました。足利義満の弾圧により竜雲寺と変えられた悲しい歴史もあり、また、応仁の乱で妙心寺とともに炎上しましたが、1597年に再建されました。米スタンフォード大学の客員教授でもある退蔵院の松山副住職から、伝統的な組織の有り方や後継者としての考え方をお話いただきます。また、座禅体験と普段は開放されていない約1,000坪に及ぶ池泉式回遊式庭園「余香苑」を特別に鑑賞させていただきます。その後はミシュラン星付き「阿じろ」の精進料理をいただきます。



10日 13:30~ 松栄堂

京都で最も老舗のお香の製造販売会社で、創業は今から300年ほど前の宝永の時代。以来、一貫して薫香製造をされています。現在、自然素材による天然香料で作られた日本の香文化は国内外から注目されており、2018年に香り文化の情報発信拠点として「薫習館(くんじゅうかん)」をオープンされました。専務の畑元章様から後継者として受け継いでこられたと感じた転換期のお話や、さらに先の次世代への継承についてなどをお話いただきます。

10日 15:30~ 足立病院

民間の産婦人科病院の必要性を感じた初代が政府の補助を受け明治35年に創設されました。現在では、出産だけでなく女性の一生に携わることができる病院を目指し、子育ての支援(保育園の開設)、思春期~老年期まで女性のライフステージにおけるヘルスケアをサポートされる体制になっています。7代目になる足立病院の畑山理事長から、病院のビジネスモデルの構築の仕方や時期理事長へのバトンタッチの仕方などをお話いただきます。



10日 17:30~ 炭屋(宿泊)

旅館としては創業106年ですが、元来は江戸時代から鍛冶屋、茶室などを展開されてきたのが京都三大老舗旅館と呼ばれている炭屋旅館です。旅館に着くとすぐに若女将から本格的な茶室での「お茶事体験」をしていただきます。さらに、堀部寛子女将から「先人が守り続けてきたあるべきこと」など、炭屋旅館の歴史について語っていただきます。その後、それぞれの部屋にて休憩いただき、京懐石のフルコースをいただきます。



【オプション】10日の夜には花柳界のお茶屋への訪問を予定しています。

11日は、光秀のゆかりの地である京都市西部と長岡京エリアの老舗企業と交渉中です。

9月11日(金) 午後5時30分ごろ 京都駅 解散予定

過去訪問先老舗リスト

(第1回からの訪問順・敬称略)

社名	業種	所在地	歴史
三嶋亭	飲食(すき焼き)	中京区	1873年(明治6年)
日吉屋	製造(和傘)	上京区	江戸時代後期
堀金箔粉	製造(金箔)	中京区	1711年(正徳元年)
中村ローソク	製造(和蠟燭)	伏見区	1887年(明治20年)
湯葉に	飲食(湯葉)	南区	1905年(明治38年)
山ばな平八茶屋	飲食(麦飯とろろ汁)	左京区	1576年(天正4年)
宇佐美松鶴堂	製造(文化財修復)	下京区	天明年間
傳來工房	製造(7丸鋳物)	南区	平安初期
澤正	飲食(そば菓子)	東山区	1909年(明治42年)
永楽屋	製造(手ぬぐい)	中京区	1615年(元和元年)
八千代	飲食(湯豆腐)・宿泊	左京区	安土桃山時代
雲楽窯	製造(清水焼)	山科区	1961年
川島織物セルコン	製造(呉服・インテリア)	左京区	川島織物 1843年(天保14年)
若林佛具製作所	製造(佛具)	下京区	1830年(天保元年)
半兵衛麩	製造(麩・湯葉)	東山区	1689年(元禄2年)
細尾	製造(西陣織)	中京区	1688年頃(元禄年間)
小丸屋 住井	製造(うちわ)	左京区	1624年(寛永元年)
一和	飲食(あぶり餅)	北区	1000年(長保2年)
中村楼	飲食(田楽豆腐)	東山区	1824年(文政7年)
上羽繪惣	製造(染料)	下京区	1751年(宝暦元年)
丸久小山園	製造(茶)	宇治市	1688~1704年(元禄年間)
辰巳屋	飲食(抹茶料理)	宇治市	1840年(天保11年)
通圓	製造(茶)	宇治市	1160年(永暦元年)
月桂冠	製造(日本酒)	伏見区	1637年(寛永14年)
魚三楼	飲食(京料理)	伏見区	1764年(明和元年)
生田産機工業	製造(機械)	伏見区	1919年(大正8年)
はり清	飲食(京料理)	東山区	1659年(万治2年)
近江屋ロープ	製造(ロープ)	下京区	文化年間
八代目儀兵衛	飲食(米)	下京区	2006年(1787年 天明7年)
綿善旅館	宿泊	中京区	1830年(天保元年)
翁樹庵(三嶋亭)	飲食(ステーキ)	中京区	2018年(1873年 明治6年)
田中直染料店	製造(染料)	下京区	1733年(享保18年)
柗家	宿泊	中京区	1818年(文政元年)
炭屋旅館	宿泊	中京区	1910年(大正初期)